

サレジオ高専の国際技術教育プログラムに参加する海外学生の男女別調査

Survey by Gender of International Students Participating in the Salesio International Technical Education Project

グループ名：サレジオ工業高等専門学校 国際言語科

学生氏名¹⁾神戸政則

指導教員 教員氏名²⁾マルケス・ルイス

1) 所属先：サレジオ工業高等専門学校 機械電子工学科

2) 所属先：サレジオ工業高等専門学校 国際研究

日本語アブストラクト：サレジオ工業高等専門学校で行われた国際交流にて男性学生と女性学生の考え方の違いについて調査した。

キーワード：国際交流, ジェンダー, 国際言語

1. 緒言

サレジオ工業高等専門学校(サレジオ高専)では、国際交流が毎年行われている。

今回は本国際交流の「海外学生の男子学生と女子学生の考え方とプログラムについての今後の希望」について調査し、その成果について報告する。

2.2 か国に実施した国際交流

東ティモール人学生との国際交流は、10 日間の日程で行った。本交流会はサレジオ高専の施設見学や研究室訪問、ものづくり研修、学外での企業見学、大学講師による講義、日本文化体験を実施した。

フィリピン人学生との国際交流は、10 日間の日程で行った。本交流会は、サレジオ高専にてモノづくり研修、日本文化体験などを実施した。

モノづくり研修にて使用した組み立てキットは、自立走行型ロボットであるサレジオ高専オリジナルの「落ちない君」である。

3. 調査方法

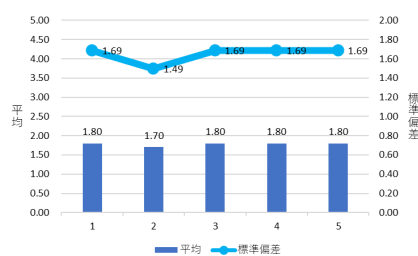
本調査ではアンケートを作成し、それに回答する形式で実施した。アンケートは5段階評価の質問を5項目と、自由記載欄の質問を7項目取った。最高評価は1,最低評価は5である。調査対象は本企

画に参加した海外学生並びに教員である。回答者数は東ティモールとの国際交流では学生10名と教員2名の計12名、フィリピンとの国際交流では学生9名と教員1名の計10名であった。

本論文では計22名の調査結果から考察した。

4. 調査結果

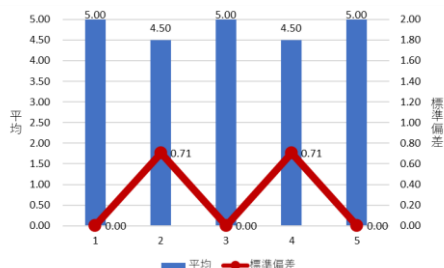
図①に東ティモール人男性のアンケート結果を示す。回答数は8名である。平均値が最も高かったものはQ2「ものづくり体験は良い経験になりましたか」Q6「今回のものづくり体験で製作したものは興味があるものでしたか」Q7「日本文化体験は良い経験になりましたか」Q8「日本文化体験は満足いくものでしたか」の1.80であった。また標準偏差が最も高かったものはQ2, Q6, Q7, Q8の1.69であった。



図① 東ティモール人男性のアンケート結果

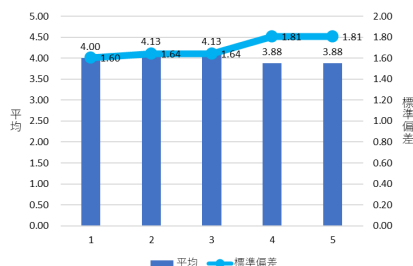
図②に東ティモール人女性のアンケート結果を

示す。回答数は 2 名である。平均値が最も高かったものは Q2, Q6, Q8 の 5.00 であった。また標準偏差が最も高いものは Q3 「ものづくり体験は満足がいくものでしたか」 Q7 の 0.71 であった。



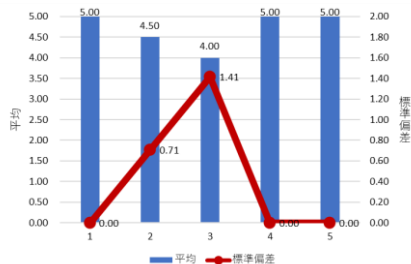
図② 東ティモール人女性のアンケート結果

図③にフィリピン人男性のアンケート結果を示す。回答数は 8 名である。平均値が最も高かったものは Q3, Q6 の 4.13 であった。また標準偏差が最も高いものは Q7, Q8 の 1.81 であった。



図③ フィリピン人男性のアンケート結果

図④にフィリピン人女性のアンケート結果を示す。回答数は 2 名である。平均値が最も高かったものは Q2, Q7, Q8 の 5.00 であった。標準偏差が最も高かったものは Q6 の 1.41 であった。



図④ フィリピン人女性のアンケート結果

以上の複合グラフと自由記載から海外男性と海外女性の価値観を考察する。

海外男性で評価が最も高かったものは Q6 「今回のものづくり体験で製作したものは興味があるも

のでしたか」であった。Q6 の追加質問である Q6.1 「次回のものづくり体験ではどのようなものを作りたいですか」から海外男性の価値観を考察する。Q6.1 の回答として、海外男性は「より実践的なロボット作り」などの「ロボット製作」と、「新しいロボットの自動制御をやりたい」などの「ロボット制御」であった。以上の事から海外男性の価値観は、ロボットに関して考えていると推論する。

海外女性で最も評価が高かったものは Q2 「ものづくり体験は良い経験になりましたか」 Q8 「日本文化体験は満足がいくものでしたか」であった。Q2 の追加質問である Q2.1 「具体的にどんな経験ですか」と、Q8 の追加質問である Q8.1 「具体的にどんな体験ですか」から海外女性の価値観を考察する。Q2.1 に対し海外女性は「知識・経験」であった。Q8.1 に対し「通勤を経験するのはいいことだが、長時間の通勤は疲れるので、次回は宿舎が近くなることを願うばかり」などの「日本文化」と、「日本の自然についてより学べるようにしてほしい」などの「日本の自然」であった。以上の事から海外女性の価値観は、日本の体験について考えていると推論する。

5. 結言

今回の調査結果から、海外男性はロボットについて、海外女性は日本の体験について考えていると推論した。

今回のアンケート結果から、次回以降の国際技術交流プログラムの改善につながる可能性がある。

引用

- 1) Marques, Luis. (2018). "The Sate Building Process in Timor-Leste: A Study of the Theoretical Foundations of Technical Education". Complex Emergencies and Humanitarian Response. Mitsuru Yamada and Miki Honda (eds.). Osaka: Union Press. pp.147-164.
- 2) Marques, Luis. (2021). "The Role of Technical Education in the Process of State-building: The Case of Post-conflict State of Timor-Lest". Graduate School of Social Sciences, Waseda University, Doctor of Philosophy Social Science. Ph.D. Dissertation